

「幸福」をめぐる諸考察 2

☆公衆的快樂主義（功利主義）下

J S ミルの質的功利主義

P シンガーの選好功利主義

☆活動説（自己実現説）

特にアリストテレスの場合

J S ミル

英国 1806 ~ 1873

ロンドン生まれ 父ジェームズ・ミル→ベンサムの子

父 人間の優劣は教育で決まる→子供と一緒に勉強した

父親の英才教育を受ける

14歳でフランスに留学

17歳東インド会社に入社

45歳テーラー未亡人と結婚(20年来のつきあい)

その後東インド会社を辞め、学問の道に入る

1859年「自由論」政治学的

1861年「功利主義」

議員になる。婦人参政権の確立に努力

ST アンドリュース大の総長に

「My work is done」私の仕事は終わった

質的功利主義

It is better to be a human being dissatisfied

than a pig satisfied: better to be Socrates

dissatisfied than a fool satisfied.

ソクラテス＝賢者の代表

満足な豚よりも不満足な人間の方がよい。

愚かな人間よりも不満足な賢い人間の方がよい。

質の差を考えろ!!

優れた快樂は不満足でも好ましい。

下劣な快樂はたとえ得たとしても好ましくない。

→快樂に優劣の差があるんだ!!

快樂主義の大原則

快＝善

苦＝悪

快樂に優劣の差をつけた→快樂主義を裏切った?

功利主義の原則

「最大多数の最大幸福」

公平に一人一票→優劣の差があるってことは一人一票じゃないってこと？

優劣を判定するものは何か？

教養があって、その両方を十分知っている人が、躊躇なく選ぶ方が質が高い!!

→実に人間的、実は貴族主義？

そんなこと、簡単に判定できるの!→事実上、不可能では？

時代背景

大衆民主主義は墮落するのでは?と危惧する人々が出てきた。

ミルも危惧していた

肉体的快樂は刺激が強いので、精神的快樂を味わえない人が追求しやすい。

by アリストテレス

精神の貴族主義

質の高い快樂を選ぶ能力＝品位感

sence of diqority

いい世界を知る

→人格の高貴さ、気高い人柄

→良心のある人間になる＝内的制裁

→エゴイズムの抑制、最大多数の最大幸福の実現!!

人類愛、自己犠牲

ソクラテス

若者と対話する→真の政治だ

キリスト

己のごとく隣人をも愛せ

己の欲するところを他者にも施せ

快樂主義のパラドックス

注意しないと快樂は、求めれば求めるほど、苦痛がやってくる。

無反省に快樂を追っていくと、欲望の奴隷になってしまう。

→思慮と心の強さが必要

グルメの苦痛「確かにうまい、けどあれに比べれば・・・。」

欲望の増大に苦しめられる。

意識的に快樂を追求しようとするほど、逃げていく

P シンガー

豪州 1946 ~

菜食主義者

功利主義、快樂主義をぎりぎりまで突き詰めた

人気者、過激な思想家

代表的著書「実践の倫理」

選好功利主義

快苦に関して平等な配慮をする功利主義

→取り扱いでなくて配慮!!

「最大多数の最大幸福」

→人間だけに適応なのか?そんなのは、人間のエゴイズムだ!!

快と苦を感じるすべての動物も含めて考えるべきだ

新薬開発の動物実験

相当数のサルが苦痛を味あわされている。

→健康なチンパンジーを使うよりか、障害で快苦を感じない人間を使ったほうがいい。

→胎児や生まれたての赤ん坊は、犬や猫より価値が低い

動物や魚を食べることはいいのか?

→なぜ牛を殺していいのか?

牛は高等でないので、未来意識がない。

→だって、牛は将来に見通しがないだろ。

キリスト教社会

神の前では皆平等

理性と反省能力、未来意識があるものは大切に扱われるべきだ

→胎児の中絶、新生児の間引き、障害児を治療せずに殺してもいい

未来意識を持つ可能性は、と考えることはどうなんだ?

植物だって意識は、あるんじゃないか?

我々の偽善を暴いてくれる部分はある。

快樂主義者の考え

幸福 = 幸福感 = 満足感 = 快樂

幸福 = 幸福感なのか?

他人の快樂や苦痛を考えることはいいのか?あまりに安直ではないのか?

最高善＝幸福

幸福主義の中の活動説

☆活動説(自己実現説)

特にアリストテレスの場合 (BC.384 ～ 322)

幸福≠快樂

この世のものは、「目的」と「手段」を繰り返す。

「手段」を自己目的化してしまう。

究極目的は、「幸福」だ。

例：幸せのために家を買うはずが、家のために生きた人生になってしまうことがある。

→ 100 万もっているとなかなか使えない。

幸福＝アレテーに即した魂の活動

「お金」「健康」「友人」「家庭」「地位」はみんな状態、これら「手段」(条件)を使って

魂＝いきいきとした、生命力、精神力 **Psyche**

アレテー＝卓越性、優秀性、優れた個性的な能力、ほかのものにはできないもの

↓

徳＝優れた人間性、よき能力

例：ミュージシャン→卓越した能力を持つ。

この能力を最大限生かして、素晴らしい演奏をすること。

これが、「幸せ」なんだ。これこそが、「幸福」だ!!

可能態と現実態

自分の持っている能力を、発揮させ現実化する→幸福

魂

理性的能力→人間はここまでできる

精神的能力

運動能力→動物はここまで

感覚能力

栄養摂取能力→植物はここまで

生育能力

猿に美しさがわかるか?美しさに感動するか?

人間的能力＝アレテーを発揮していきるべきだ!

↓

徳

器の大きな人間は、多くの幸福が手に入る

器の小さな人間は、小さな幸福しか手に入らない

喜び(快樂)は能力に従った活動のしるし

→悪い快樂を否定できた

快樂がまた活動を高めてくれる

→あえて、快樂を定義に入れなかった

徳

知性的

知恵 世界の真理を見抜く能力

思慮 自分の生活を切り開いていく能力(選択する力)

技術 幅広く新しいものを作り出していく能力

あればあるほどいい!!

性格的

色々ある

中庸の徳(ほどほどがいい)

勇敢すぎるといけない。勇気がなくてはいけない

怠惰を許してくれない!

能力はあればあるほどいいのか?

→源義経の例、カルタゴのハンニバルの例

3人のガンマン

Aは10/10 B 8/10 C 5/10 が殺し合いをする。

明日は反俗的・超俗的幸福観

哲学的・宗教的幸福観(超越的)